

科目名	物理療法理論						年度	2025	
英語科目名	Physical therapy theory						学期	前期	
学科・学年	柔道整復科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	星野虎之助、後藤晃弘		教員の実務経験	有	実務経験の職種	柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)			

**【科目の目的】**

柔道整復師として臨床現場で必ず行う物理療法について基本的な種類を学ぶ。多種多様な物理療法を学ぶことにより、患者の症状に対する物理療法の効果を理解する。

**【科目の概要】**

部位別の具体的な外傷の成り立ちや施術方法について学びます。

**【到達目標】**

物理療法の理解や探求する力を身につけるために、各物理療法の用いた際の生体への反応の法則を理解する。寒冷療法、光線療法、牽引療法、間欠的圧迫法など各種物理療法の毛細血管や浸透圧、神経系、筋肉に対するの生理学的作用を理解する。各種物理療法の実施した際の効果並びに、どのような疾患に対して効果があるのか、また一般的な禁忌や各種物理療法だけの禁忌（特異的禁忌）について理解することを到達目標とする。

**【授業の注意点】**

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	物理療法の分類について完全に理解している。	物理療法の分類について大体理解している。	物理療法の分類について部分的に理解している。	物理療法の分類についての理解がやや不足している。	物理療法の分類について理解していない。
到達目標 B	間欠的圧迫法について完全に理解している。	間欠的圧迫法について大体理解している。	間欠的圧迫法について部分的に理解している。	間欠的圧迫法についての理解がやや不足している。	間欠的圧迫法について理解していない。
到達目標 C	寒冷療法について完全に理解している。	寒冷療法について大体理解している。	寒冷療法について部分的に理解している。	寒冷療法についての理解がやや不足している。	寒冷療法について理解していない。
到達目標 D	牽引療法について完全に理解している。	牽引療法について大体理解している。	牽引療法について部分的に理解している。	牽引療法についての理解がやや不足している。	牽引療法について理解していない。
到達目標 E	光線療法について完全に理解している。	光線療法について大体理解している。	光線療法について部分的に理解している。	光線療法についての理解がやや不足している。	光線療法について理解していない。

**【教科書】**

教科書（柔道整復理論編一般社団法人全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。

**【参考資料】**

**【成績の評価方法・評価基準】**

試験と課題を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		物理療法理論			年度	2025
英語表記		Physical therapy theory			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	物理療法の分類	電気療法・温熱療法や周波数と波長を理解する。	1 電気療法	電気刺激療法の出力と周波数の違いを理解する	3	
			2 温電法	温電法、冷電法の特徴を理解する		
			3 その他物理療法	その他の物理療法の名称を理解する		
2	間欠的圧迫法①	全身的浮腫や局所的浮腫を理解する。	1 浮腫とは	浮腫について理解する	3	
			2 浮腫の原因	浮腫の原因を4種類以上、覚える		
			3 浮腫の特徴	浮腫の特徴を理解し覚える		
3	間欠的圧迫法②	間欠的圧迫法の生理学的作用を理解する。	1 間欠的圧迫法とは	間欠的圧迫法と持続的圧迫法の違いを理解する	3	
			2 間欠的圧迫法の特徴	間欠的圧迫法の特徴を理解する		
			3 生理学的作用	血液やリンパ液の流れの促進作用を生理学的に理解する		
4	間欠的圧迫法③	間欠的圧迫法の効果を理解し、使用方法や包帯を使った方法を習得する。	1 間欠的圧迫法の効果	間欠的圧迫法の効果を理解する	3	
			2 包帯を用いた圧迫法	包帯を用いた圧迫法を理解する		
			3 その他の圧迫法	その他の圧迫法を理解する		
5	寒冷療法①	寒冷療法の原理、生理学的作用を理解する。	1 寒冷療法とは	寒冷療法について理解する	3	
			2 寒冷療法の特徴	寒冷療法の特徴を理解する		
			3 生理学的作用	出血、止血、血流を生理学的に理解する		
6	寒冷療法②	寒冷療法の適応と禁忌、効果を理解する。	1 寒冷療法の適応症	寒冷療法の適応症を理解する	3	
			2 寒冷療法の効果	寒冷療法の効果を理解する		
			3 寒冷療法の禁忌	寒冷療法の禁忌を覚える		
7	寒冷療法③	寒冷療法（アイスパック・クリッカー）の使用方法を習得する。	1 寒冷療法の種類	寒冷療法の種類を理解する	3	
			2 アイスパックの使用法	アイスパックの使用法を覚える		
			3 クリッカーの使用法	クリッカーの使用法を覚える		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 物理療法の種類	物理療法の種類を振り返る	3	
			2 物理療法の効果	物理療法の効果を振り返る		
			3 生理学的作用	効果を生理学的に振り返る		
9	頸椎牽引、腰椎牽引	頸椎牽引、腰椎牽引の生理学的作用、使用方法を理解する。	1 牽引療法について	牽引療法について理解する	3	
			2 頸椎牽引	頸椎牽引の特徴、使用方法を理解する		
			3 腰椎牽引	腰椎牽引の特徴、使用方法を理解する		
10	光線療法	光線療法の生理学的作用を理解する。	1 光線療法について	光線療法について理解する	3	
			2 光線療法の種類	光線療法の種類を覚える		
			3 生理学的作用	光線療法の効果を生理学的に理解する		
11	赤外線療法	赤外線療法の生理学的作用、使用方法を理解する。	1 赤外線療法について	赤外線療法について理解する	3	
			2 使用例	具体的な使用方法を理解する		
			3 生理学的作用	赤外線療法の効果を生理学的に理解する		
12	レーザー光線療法	レーザー光線療法の生理学的作用、使用方法、光線療法の禁忌を理解する。	1 レーザー光線療法について	レーザー光線療法について理解する	3	
			2 レーザー光線療法の種類	レーザー光線療法の種類を覚える		
			3 生理学的作用	レーザー光線療法の効果を生理学的に理解する		
13	電気療法	電気療法の種類などを理解する。	1 皮膚の電気抵抗	皮膚の電気抵抗と周波数の関係を理解する	3	
			2 TENS	TENSの特徴と効果を理解する		
			3 EMS	EMSの特徴と効果を理解する		
14	振り返り	前期9回～13回の講義の振り返り。	1 物理療法の種類	物理療法の種類を振り返る	3	
			2 物理療法の効果	物理療法の効果を振り返る		
			3 生理学的作用	生理学的作用を振り返る		
15	物理療法理論のまとめ	前期物理療法理論全体の振り返り。	1 使用例	具体的な使用例を覚える	3	
			2 効果	症状と効果を考える		
			3 生理学的作用	症状と効果を生理学的に理解する		

評価方法：1. 小テスト、51. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等